

とうきょう消防

第50号

TOKYO FIRE NEWS



令和5年8月20日発行(年4回発行)東京消防庁企画調整部広報課〒100-8119東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表)ホームページ:https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/

おかげさまで創刊から50号

バックナンバーはこちら



防災週間

8月30日(水)
～9月5日(火)



関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災

関東大震災から100年

心がけよう地震への備え

本年(9月1日)は、甚大な被害をもたらした関東大震災発生から100年です。
昨年5月に東京都が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定」では、**地域住民が「初期消火」を実施することで、火災による被害を大幅に軽減できると示されました。**
積極的に地域の防災訓練に参加し、いざという時のために初期消火活動ができるようにしましょう。

関東大震災時の消火活動の様子
出典:東京都復興記念館所蔵資料



防災訓練で初期消火の方法を身に付けましょう

公園やご自宅近辺の路上など身近な場所で、初期消火訓練を行うことができます。ご近所同士など少ない人数、短い時間でできますのでぜひご参加ください。



首都直下地震に備えて近隣住民が「まちかど防災訓練」を実施



住宅街の路上で行われた消火訓練

参加できる防災訓練を検索

「いつ・どこで」防災訓練に参加できるのか、東京消防庁公式アプリのマップ機能で確認できます。



※画像はイメージです。
本イベントは終了しています。

まちかど防災訓練車



車両は小型のうえ、訓練に必要な道具がそろっているため、小さな公園などでも放水訓練が可能です。

防火防災訓練ポータルサイト

東京消防庁のホームページでは、消火器の使い方、地震や火災発生時の行動などを、動画やクイズで分かりやすく説明しています。防災訓練の事前学習や地域で防災訓練を行いたいときなど、ぜひご利用ください。

電子学習室

防火防災対策や震災対策、応急手当の方法などを、動画等で分かりやすく学習できるコンテンツを掲載しています。



防火防災訓練ポータルサイトのトップ画面



防災訓練動画

消火器の使い方、避難のしかたなどを分かりやすく説明しています。防災訓練の予習・復習に活用してください。



リモート防災訓練:キュータと学ぼう!消火器の使い方

ふむふむ防災TV

防災キャラクター「ふんわり ふむふむ」と一緒に、楽しみながら防災について勉強できます。



防災週間

8月30日(水)～9月5日(火)



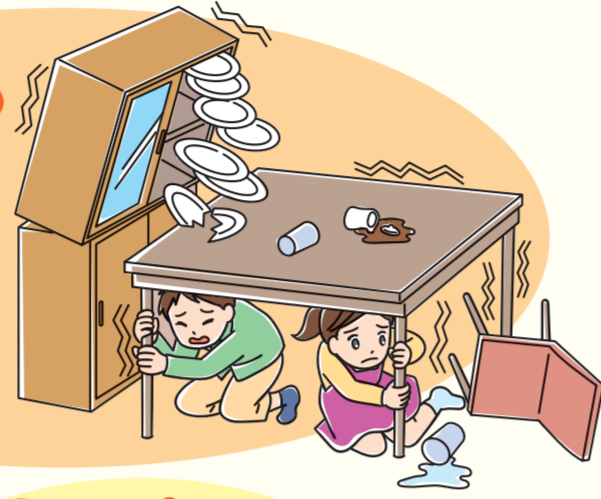
令和5年度防災週間ポスター

▶地震だ! まずは身の安全を!

緊急地震速報を受けたり地震の揺れを感じたら、まず身の安全を最優先しましょう。自分の身の安全を図ることで、けがを防止、地震後の避難や救出・救護などがスムーズに行えます。

①地震がきたら...

丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。



②地震の揺れがおさまったら... ③安全の確認ができたなら...

揺れがおさまってから慌てず行動しましょう。

ご近所同士、協力しましょう。

火を消す



出火した時は、落ちついて消火しましょう。

出口の確保

外に出るときは落下物に注意しましょう。



門や塀は危険

ブロック塀などには近寄らないようにしましょう。



安否を確認



家族や近隣の安否、出火の有無をお互いに確認しましょう。

電気とガスを確認

避難時には、復電時の通電火災やガス漏れを防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めましょう。



確かな避難を



声を掛け合い、一時集合場所や避難場所に避難しましょう。

キウータが答える! 災害時Q&A!

もっと詳しく知りたい方は、新しくなった「地震その時10のポイント」をご覧ください。



災害時、具体的にどんなものを備えておけば大丈夫ですか。

非常用の持ち出し品や3日分の食糧等の備蓄をお願いします。詳しいリストなどを当HPで紹介しています。



▶地震に備える 地震から命を守る、家具類の転倒・落下・移動防止対策

3つの危険

1.けが



地震時、けが人の約3～5割が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。

2.火災



電気ストーブなどに物が落ちてスイッチが入り、火災が発生することがあります。

3.避難障害

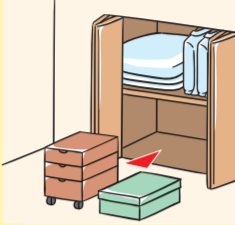


倒れた家具等が避難経路をふさいでしまい、避難の妨げになることがあります。

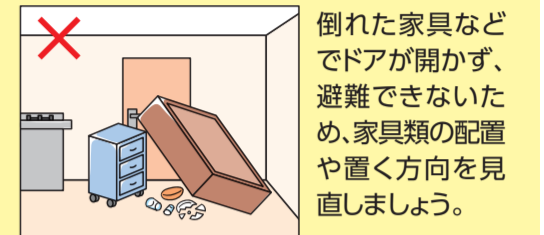
3つの対策

1.集中収納

クローゼットや据え付け収納家具へ集中収納し、生活空間には家具類を置かないようにしましょう。



2.レイアウトの工夫



倒れた家具などでドアが開かず、避難できないため、家具類の配置や置く方向を見直しましょう。

3.対策器具設置

家具類に適した対策器具を設置しましょう。



防災館

防災館では、地震の揺れや煙、初期消火、応急手当などをツアー形式で体験訓練できます。ぜひご来館ください。



池袋防災館



毎週金曜日に「ナイトツアー」を実施しています。夜間を想定した防災体験ができます。
豊島区西池袋2-37-8 TEL/03-3590-6565
休館日/第1・第3火曜日及び第3火曜日の翌日(祝日の場合はその翌日)
※各館とも開館時間は午前9時から午後5時までです。(池袋防災館のみ毎週金曜日は午後9時まで開館しています。)

本所防災館



屋内だけでなく、屋外やコンビニを想定した地震体験ができます。
墨田区横川4-6-6 TEL/03-3621-0119
休館日/水曜日・第3木曜日(祝日の場合はその翌日)

立川防災館



防災クイズやリニューールした煙体験室の防災体験を通じて親子で防災を学べます。
立川市泉町1156-1 TEL/042-521-1119
休館日/木曜日・第3金曜日(祝日の場合は直後の平日)

東京消防庁災害時支援ボランティア募集中!

震災等発生時に消防署の支援を行う専門ボランティアを募集しています。※平常時は、地域の防災リーダーとして防災訓練や行事等に参加します。お問い合わせは、最寄りの消防署まで

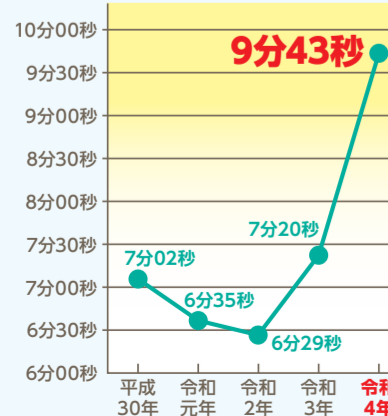


9月9日は救急の日

救急車、到着まで9分43秒!! 救急車は限りある資源です!

救急車の出件件数が増加すると到着時間が延び、一分一秒を争う現場への到着が遅れる恐れがあります。救急車を必要としている人のもとにいち早く到着し、迅速・適切な治療ができるよう、救急車の適正な利用にご協力ください。

救急車の現場到着時間の推移



救急車を呼ぶか迷った時は 東京消防庁救急相談センター「#7119」へお電話を

24時間365日、相談医療チームが救急車の必要性や受診可能な医療機関の案内などを行っています。

また、ご自身で緊急度が確認できる「東京版救急受診ガイド」は東京消防庁のホームページや公式アプリから利用できます。



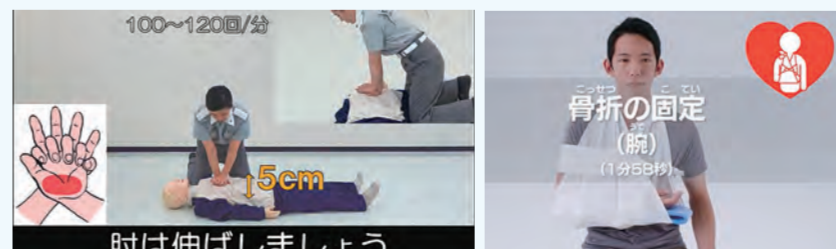
おなかที่痛いのですが、でも救急車というほどでは...

近くの病院をご案内します。

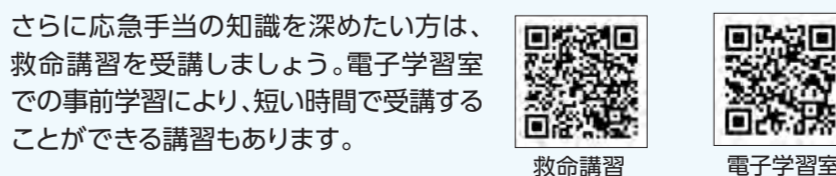
救急相談センターHP

応急手当を学ぼう

応急手当に自信がない、やり方が分からない方のために、応急手当の方法を学べる動画を東京消防庁HPの電子学習室や東京消防庁公式アプリで配信しています。



さらに応急手当の知識を深めたい方は、救命講習を受講しましょう。電子学習室での事前学習により、短い時間で受講することができる講習もあります。



119番通報後に受けられる応急手当の3つのアドバイス

①通信指令員の助言

通報を受けた通信指令員が口頭でアドバイスをを行います。

呼吸の確認をしてください。

②救急隊員からの連絡

救急隊が通報者へ電話を掛けて応急手当のアドバイスをを行います。

③音声と映像を共有する「Live119」

通報者のスマートフォンにアクセスし、ビデオ通話によるライブ映像を確認しアドバイスをを行います。

胸の中央を押しってください。



今 あなたの力が必要です

消防団員募集!

消防団は、会社員や自営業、学生や主婦などで構成され、災害活動や住民の方への防災指導など安全・安心な街づくりのために活動しています。



インターネットから消防団への入団エントリーができます。入団希望の方及びご興味のある方はこちらから…

23区内にお住まいの方▶



市町村にお住まいの方▶



- 入団条件**
- ・18歳以上の健康な方
 - ・消防団の区域に居住、勤務又は通学している方
- 消防団員の処遇**
- 報酬: 年額報酬や出場手当の支給
 公務災害補償: 活動中に負傷した場合の様々な補償
 被服等の給貸与: 活動に必要な活動服や、制服等を支給
 退職報償金: 5年以上消防団活動を行った方へ退団時に支給
 表彰: 活動にあたって功勞、功績があった場合に表彰

消防団員募集

0120-119-588
 午前9時から午後5時まで(土・日・祝日を除く)

https://tokyo23city-syobodan.jp/
 東京消防団
 詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。

電気火災が増えています!

電気火災は「小さなこげ跡」でも大きな火災を引き起こす可能性があり、大変危険です。身近にある電気製品の「小さなこげ跡」を見つけたら119番通報するか最寄りの消防署にお電話ください。またはホームページの「東京消防庁版電気製品火災相談ガイド」をご活用ください。

【こんなこげ跡も電気火災です】



今、増えています! 抜け止め防止付テーブルタップからハサミなどでプラグを無理矢理外さないようにしましょう。

電気製品のこげ跡を見つけて迷ったら…
 東京消防庁版
電気製品火災相談ガイド

リチウムイオン電池の廃棄方法にご注意!

※モバイルバッテリーやスマートフォン等に使用されています。リチウムイオン電池が可燃ごみに混ざって捨てられ、ごみ収集車の中でつぶれて火災になることが増えています。適正な廃棄にご協力ください。



リサイクル協力店の最新情報は、一般社団法人JBRCのホームページからご確認ください。

リチウムイオン電池の廃棄方法

- ・お住まいの自治体の分別排出方法に従う
- ・家電量販店等のリサイクル協力店に確認後、持込む

東京消防庁公式アプリで災害遺構めぐり

東京消防庁公式アプリのマップ機能では、過去の災害の教訓を将来に残すために作られた石碑などの災害遺構を表示することができます。関東大震災から100年の今、足を運ばれてみてはいかがでしょうか。



アプリのダウンロードはこちら▶

第50号発行記念 特別消防レアカードプレゼント

アプリをダウンロードしてカードをゲットしましょう!

キュータが第50号の発行をお祝っています!!

お楽しみプレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に、「東京消防庁オリジナルポータブルレジャーシート」をプレゼント!!

【応募方法】ハガキまたはメールに ①住所 ②氏名 ③広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先またはメールアドレスまでご応募ください。

【宛先】〒100-8119 (住所不要) 東京消防庁広報課「広報とうきょう消防」編集担当

【メールアドレス】oubo@tfd.metro.tokyo.jp

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用いたします。

【締切】令和5年9月12日(火) 必着 ※応募は1人1通まで

【当選発表】プレゼントの発送をもって発表といたします。 ※プレゼントは当選者1名に1点。色は選べません

あなたの応募お待ちしています!